ラフトン
Roughtone

カタログ
No.320-12

強力 防かび・防藻システム

サニタリー工法

SANITARY SYSTEM

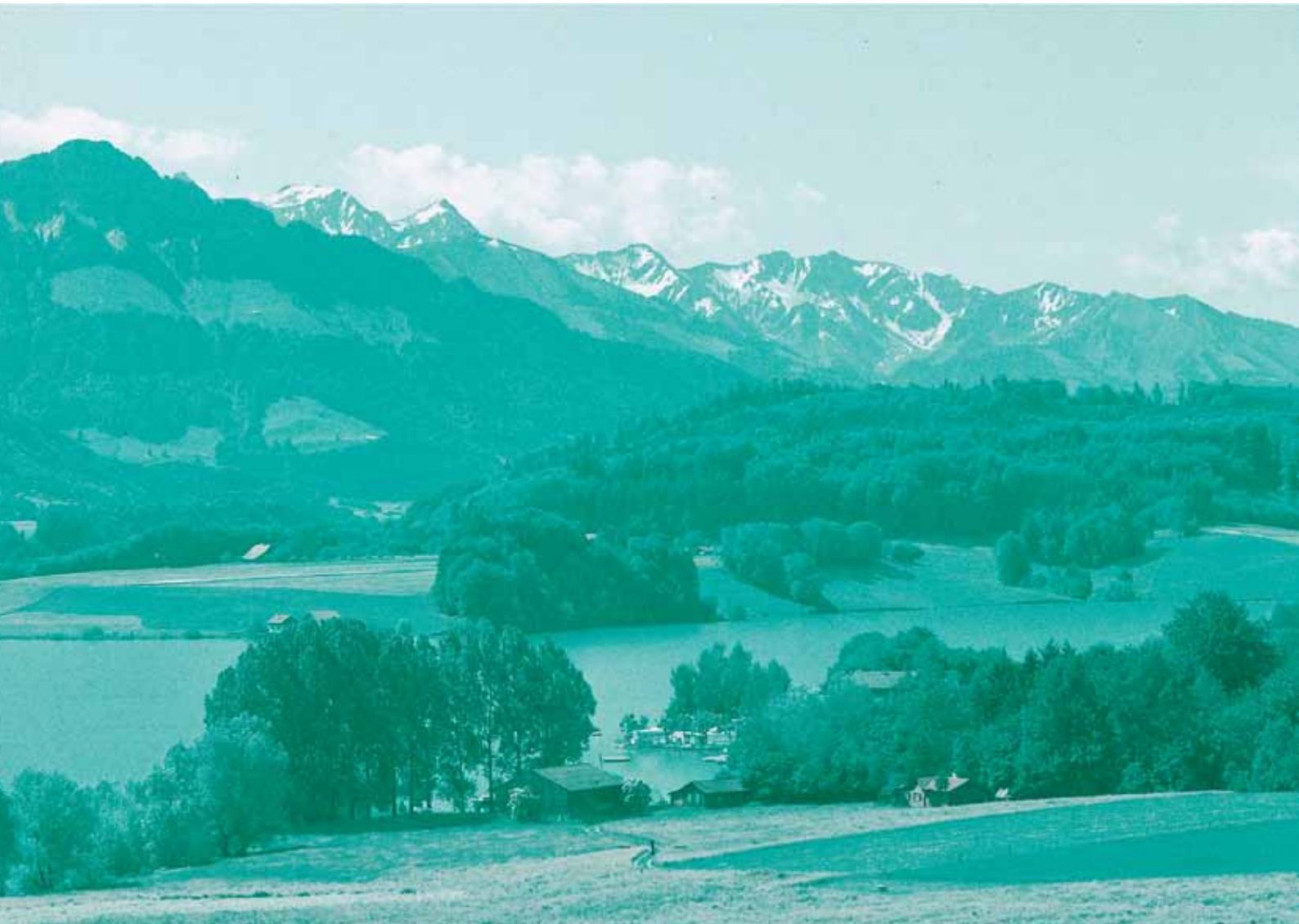
スズカファイン

清潔な住環境を演出します。

緑の豊かな日本は、年間を通じて湿度が高く温暖であるため、かびや藻類には、好適な生育条件を備えた風土となっています。さらに近年では、コンクリート構造物やアルミサッシの普及により建物の密閉化が進み、このような温室的条件のもとでかび汚染は広がる一方です。

かびや藻類の及ぼす弊害は、建物の美観や清潔感を損うだけではありません。塗膜やビニルクロスなどの内外装材を劣化させ、さらには喘息、真菌症など人体にも悪影響を与えます。

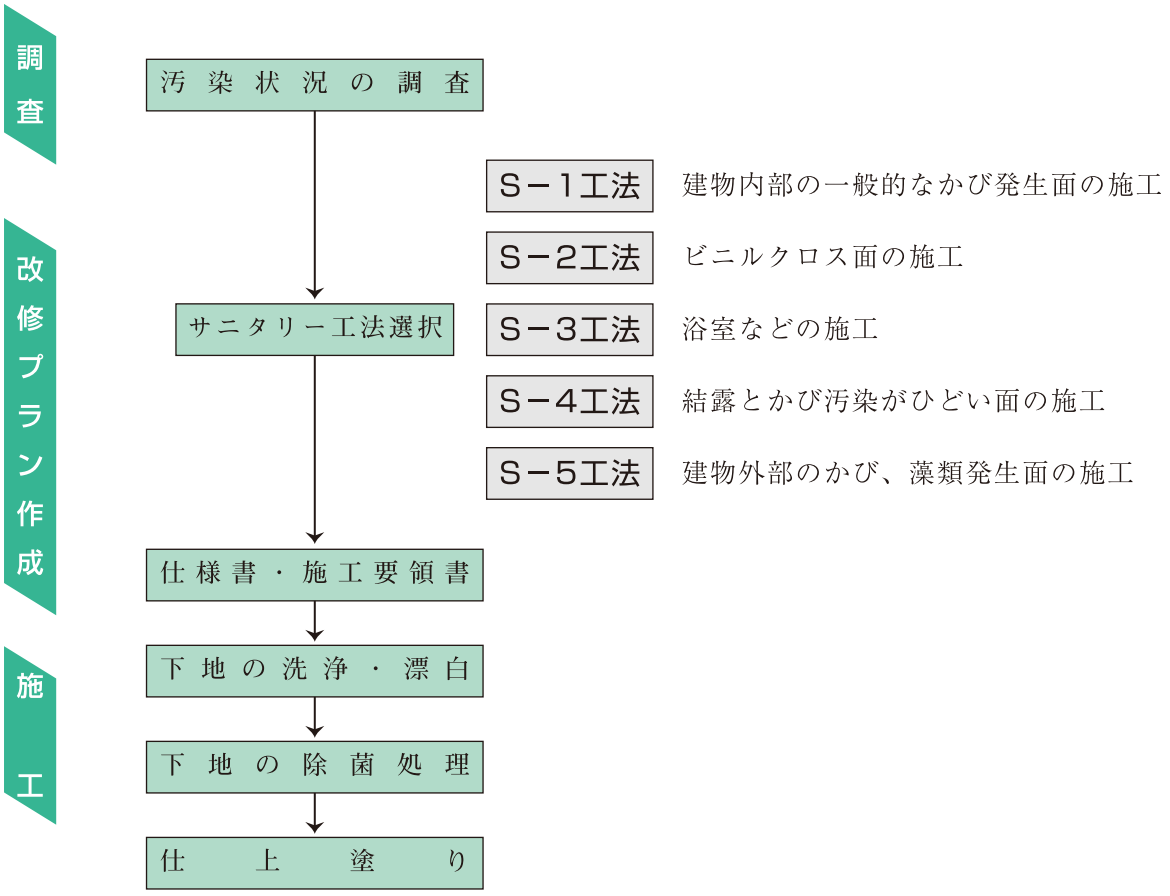
スズカファインは、このようなかびや藻類をより完全にかつ安全に排除する目的で、サニタリー工法を開発しました。そして、建物とそこに生活する人々の健康を守り、清潔で明るい生活環境創りに貢献してゆきたいと考えています。



サニタリー工法の特長

1. 除菌処理と仕上材との組み合わせで、より効果的なバイオ対策ができます。
2. サニタリー工法に用いている優れた除菌剤・防かび剤・防藻剤は低毒性であり、安全性が配慮されています。
3. サニタリー工法は耐久性に優れており、いつまでも美しさを保ちます。
4. 現場の状況、仕上げの多様化に対応するため、豊富な材料がシリーズ化されています。

サニタリー工法の体系



S－1 工法　建物内部の一般的なかび発生面の施工

対　象

一般住宅、病院、学校、ホテル、遊戯場、倉庫など

下地：モルタル、各種スレート板、せっこうボード、木質合板など
旧塗膜：EP、AEP、VPなど

施工方法

旧塗膜の除去
劣化塗膜を除去する。

↓

洗浄・漂白
ホワイトナーをブラシ・ポリエステルはけ・ウールローラー・スポンジなどを用いて、かびの発生箇所に塗布し、下地の汚れやかびを漂白除去する。処理後、１時間以上放置。（使用方法はP.８を参照）

↓

拭き取り
濡れウエスで入念に拭き取りを行い、ホワイトナーを除去する。拭き取り後、16時間以上養生。

↓

除菌処理
カビデッドをはけ・ウールローラーを用いて塗布し、下地奥深くのかびを除菌する。除菌処理後の水洗いは不要。（使用方法はP.８を参照）

↓

下地調整
巣穴・段差・目地などを補修する。（内部用パテなど）

↓

仕上塗り
仕上塗料を塗装する。

仕上塗料の種類

塗料名	内容	特長
サニタリーペイント	アクリル樹脂エマルション系	●塗装作業に優れます。 ●シックなつやなし仕上げです。
サニタリーモダン	アクリル樹脂エマルション系	●シンプルなパターン、マイルドなつやあり仕上げです。 ●低汚染性に優れます。
サニタリーコート	ターペン可溶アクリル樹脂系	●防かび性に最も優れます。 ●つやなし仕上げです。

施工例

施工前

施工後（サニタリーペイント仕上げ）

S－2 工法　ビニルクロス面の施工

対　　象　一般住宅、マンション

下地：ビニルクロス

施工方法

洗浄・漂白
ビニルクロスの汚れやかび汚染のひどい箇所のみ、ホワイトナーをブラシ・ポリエステルはけ・ウールローラー・スポンジなどを用いて塗布し、漂白除去する。処理後、１時間以上放置。（使用方法はP.８を参照）

↓

拭き取り
濡れウエスで入念に拭き取りを行い、ホワイトナーを除去する。拭き取り後、16時間以上養生。

↓

除菌処理
カビデッドをはけ・ウールローラーを用いて塗布し、下地奥深くのかびを除菌する。除菌処理後の水洗いは不要。（使用方法はP.８を参照）

↓

（剥離部補修）
ビニルクロスの剥離部裏面も、上記と同じ方法で処理し、接着剤で貼り付ける。

↓

仕上塗り
サニタリークロスを塗装する。

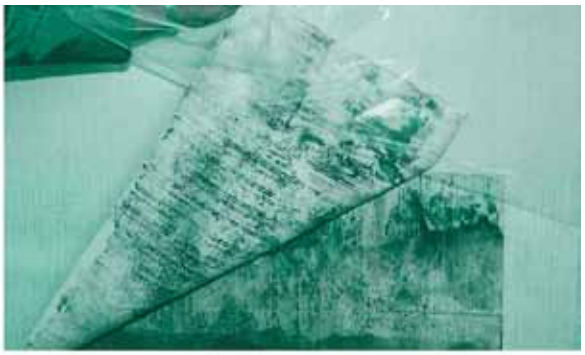
仕上塗料

塗料名	内容	特長
サニタリークロス	アクリル樹脂エマルション系	●ビニルクロスに直接塗装でき、マイルドなつやあり仕上げです。

被害例

一般住宅

ビニルクロス裏面のかび



施工例

サニタリークロス仕上げ

S－3 工法　浴室などの施工

対　　象　浴室、厨房、室内プール　（※温泉など特殊な場合はご相談ください。）

下地：モルタル、かき落し面
旧塗膜：VPなど

施工方法　（下地は、十分に乾燥している状態で、施工してください。）

旧塗膜の除去　劣化塗膜を除去する。

↓

洗浄・漂白　ホワイトナーをブラシ・ポリエステルはけ・ウールローラー・スポンジなどを用いて、かびの発生箇所に塗布し、下地の汚れやかびを漂白除去する。処理後、１時間以上放置。（使用方法はP.８を参照）

↓

拭き取り　濡れウエスで入念に拭き取りを行い、ホワイトナーを除去する。拭き取り後、16時間以上養生。

↓

除菌処理　カビデッドをはけ・ウールローラーを用いて塗布し、下地奥深くのかびを除菌する。除菌処理後の水洗いは不要。（使用方法はP.８を参照）

↓

下地調整　巣穴・段差・目地などを補修する。（ラフトンフィラーなど）

↓

仕上塗り　サニタリーコートまたはサニタリーコートグロスを塗装する。

仕上塗料の種類

塗料名	内容	特長
サニタリーコート	ターペン可溶 アクリル樹脂系	●防かび性に最も優れます。 ●つやなし仕上げです。
サニタリーコートグロス	ターペン可溶 アクリル樹脂系	●防かび性に最も優れます。 ●つやあり仕上げです。

被害例

浴室天井のかび

施工例

サニタリーコートグロス仕上げ

S－4 工法　結露とかび汚染がひどい面の施工

対　象　一般住宅、冷凍庫、食品工場、化学工場、繊維工場など

下地：ビニルクロス、モルタル、各種スレート板、木質合板、金属部
旧塗膜：EP、AEP、VPなど

施工方法　（下地は、十分に乾燥している状態で、施工してください。）

旧塗膜 → 劣化塗膜の除去
ビニルクロス → 全面除去
モルタル 各種スレート板 木質合板
金属部 → 旧塗膜の完全ケレン

→ **洗浄・漂白**　ホワイトナーをブラシ・ポリエステルはけ・ウールローラー・スポンジなどを用いて、かびの発生箇所に塗布し、下地の汚れやかびを漂白除去する。処理後、１時間以上放置。（使用方法はP.８を参照）

→ **拭き取り**　濡れウエスで入念に拭き取りを行い、ホワイトナーを除去する。拭き取り後、16時間以上養生。

→ **除菌処理**　カビデッドをはけ・ウールローラーを用いて塗布し、下地奥深くのかびを除菌する。除菌処理後の水洗いは不要。（使用方法はP.８を参照）

→ **下地調整**　巣穴・段差・目地などを補修する。（ラフトンフィラーなど）

→ **下塗り**　ヤニガードを塗装する。

さび止め塗り　エポプラを塗装する。

→ **仕上塗り**　サニタリー防露を塗装する。

仕上塗料

塗料名	内容	特長
サニタリー防露	特殊樹脂 エマルション系	●結露防止性能に優れます。

被害例

化学工場天井

繊維工場内壁

S－5 工法　建物外部のかび、藻類発生面の施工

対　象　一般外壁

下地：打放しコンクリート、モルタル、PC パネル、ALC パネル、各種サイディングなど
旧塗膜：セメントリシン、樹脂リシン、吹付タイルなど

施工方法

旧塗膜の除去　高圧洗浄機を用いて、かび、藻類、劣化塗膜を除去する。または、ブラシ、皮すきなどで除去する。

↓

下地調整　巣穴・段差・目地などを補修する。（ラフトンフィラーなど）

↓

下　塗　り　サニタリーシーラーを塗装する。

↓

仕上塗り　仕上塗料を塗装する。

仕上塗料の種類

塗料名	内容	特長
サニタリーペイント	アクリル樹脂 エマルション系	●塗装作業に優れます。 ●シックなつやなし仕上げです。
サニタリーエナメルE	アクリル樹脂 エマルション系	●塗装作業に優れます。 ●高光沢のエナメル仕上げです。
サニタリーコート	ターペン可溶 アクリル樹脂系	●防かび防藻性に最も優れます。 ●つやなし仕上げです。
サニタリーローラー	アクリル樹脂 エマルション系	●ヘヤークラシックに追従し、防水性に優れます。
サニタリーリシン	アクリル樹脂 エマルション系	●微弾性の砂壁状仕上げです。

施工例

施工前

施工後（サニタリーエナメルE仕上げ）

ホワイトナー・カビデッドの使用方法

（外部での使用は避けてください。）

使 用 方 法

ホワイトナーによる漂白処理

- 標準使用量　15～20㎡/ポリ容器１個（２kg）
- ホワイトナーをブラシ、ポリエステルはけ、ウールローラー、スポンジなどで塗布し、下地の汚れやかびを漂白除去してください。（スプレーによる塗布は絶対に行わないでください。）
- ホワイトナーは塩素系製品であるため、酸性タイプの製品といっしょに使うと、塩素ガスが出て危険ですので、他の薬剤と混合しないよう十分に注意してください。
- 処理後、１時間以上放置してください。

残剤の拭き取り

- 濡れウエスで入念に拭き取りを行い、ホワイトナーを除去してください。
- 拭き取り後、16時間以上養生してください。
- 下地が吸い込み面で拭き取りが出来ない場合は、通気を良くし、16時間以上養生してください。

カビデッドによる除菌処理

- 標準使用量　15～20㎡/ポリ容器１個（２kg）
- カビデッドをはけ・ウールローラーを用いて塗布し、下地奥深くのかびを除去してください。（スプレーによる塗布は絶対に行わないでください。）
- かびの発生がひどい場合や、下地の吸い込みが大きい場合は、２回塗布してください。
- 除菌処理後の水洗いは不用です。
- 除菌処理後、４時間以上養生して乾燥したのを確認したのち、サニタリーシリーズによる仕上塗りを行ってください。

サニタリーシリーズの性能試験

ホワイトナーの漂白洗浄性

処理前

処理後

処 理 前 ビニルクロスに黒かびが発生している。

処 理 法 汚染箇所にホワイトナーをはけで塗布し、ブラシでかびをこすり落とす。その後濡れウエスで残剤を拭き取る。

カビデッドの殺菌性

市販のかび取り剤

カビデッド

試験方法 かびの発生した塗膜を、市販のかび取り剤またはカビデッドで処理したのち、寒天培地にてかびの再発生の有無を見る。

試験期間 ３週間

試 験 菌
アスペルギルス
ペニシリウム
クラドスポリウム
オーレオバシジウム
グリオクラジウム
フザリウム
アルタナリア

サニタリーリシンの防藻性

一般の樹脂リシン

サニタリーリシン

試験方法 寒天培地方法

試験期間 ３週間

試 験 菌
クロレラ
クラミドモナス
プロオコッカス
スチココッカス
クロオコッカス

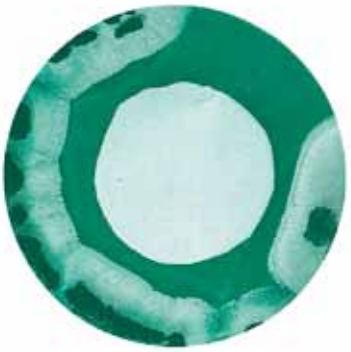
サニタリーシリーズの防かび性

一般のエマルションペイント

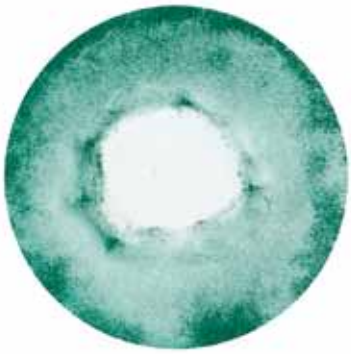
サニタリーペイント

一般の水性エナメル

サニタリーエナメルE



一般のターペン可溶エナメル



サニタリーコートグロス

試験方法 JIS Z 2911 かび抵抗性試験方法による

試験期間 ３週間

試 験 菌
アスペルギルス
ペニシリウム
クラドスポリウム
オーレオバシジウム
グリオクラジウム
フザリウム
アルタナリア

サニタリー工法　材料一覧表

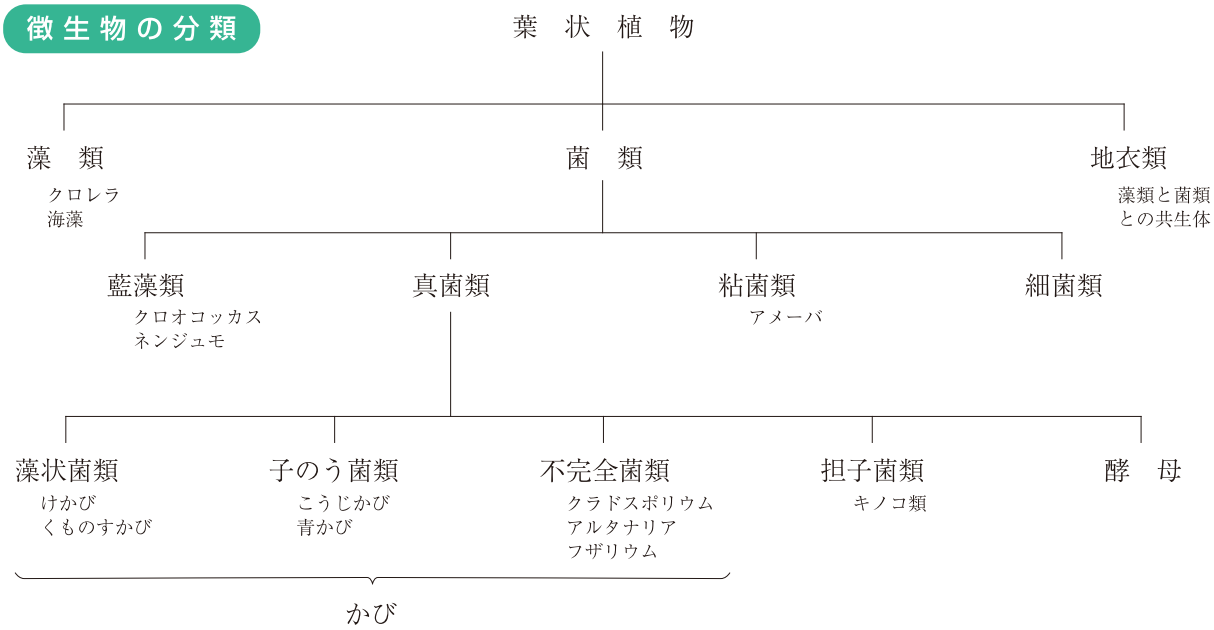
商品名	容量	荷姿	希釈剤および割合（重量比）		塗付量（kg/㎡）／塗回数
ホワイトナー	8 kg/ケース	2 kg×4／ケース	無希釈		0.10～0.15／1
カビデッド	8 kg/ケース	2 kg×4／ケース	無希釈		0.10～0.15／1
サニタリーシーラー	14kg	石油缶	無希釈		0.12～0.17／1
サニタリーペイント	20kg	石油缶	清水	5～15	0.24～0.28／2
サニタリーモダン	16kg	石油缶	清水	0～3	0.36～0.46／2
サニタリークロス	18kg	石油缶	清水	0～5	0.24～0.30／2
サニタリー防露	18kg	石油缶	パターンローラー塗り	清水 0～1	0.9 ～1.1 ／1
			吹付け	清水 0～3	
サニタリーコート	16kg	石油缶	はけ・ローラー	塗料用シンナー 0～10	0.18～0.22／2
			スプレー	塗料用シンナー 10～20	
サニタリーコートグロス	16kg	石油缶	はけ・ローラー	塗料用シンナー 5～15	0.18～0.22／2
			スプレー	塗料用シンナー 20～30	
サニタリーエナメルE	16kg	石油缶	清水	5～10	0.30～0.40／2
サニタリーリシン	20kg	石油缶	清水	1～3	1.5 ～1.6 ／2
サニタリーローラー	16kg	石油缶	基層塗り	清水 0～5	0.7 ～0.8／1
			模様塗り	清水 0～5	0.7 ～0.8／1

塗装間隔時間（23℃）	塗　装　方　法	内　　容	特長および用途	適　用　箇　所	
				内　部	外　部
塗布後１時間以上 拭き取り後16時間以上	ブラシ塗り、はけ塗り ウールローラー塗り、スポンジ	塩素系漂白剤（水系）	かびの洗浄漂白	○	——
４時間以上	はけ塗り、ウールローラー塗り	有機窒素系除菌剤（水系）	かびの除菌処理	○	——
１時間以上*	はけ塗り、ウールローラー塗り スプレー塗り	有機窒素系除菌剤入り 溶剤系白色シーラー	かび・藻類の除菌性	○	○
（工程内） ２時間以上 （最終養生） 24時間以上	はけ塗り、ウールローラー塗り スプレー塗り	アクリル樹脂系エマルション塗料	防かび防藻性 作業性	○	○
（工程内） ２時間以上 （最終養生） 24時間以上	スチップルローラー塗り （荒目）	アクリル樹脂系エマルション塗料	防かび性 低汚染性	○	×
（工程内） ２時間以上 （最終養生） 24時間以上	はけ塗り、ウールローラー塗り スプレー塗り	アクリル樹脂系エマルション塗料	防かび性 ビニルクロスの塗替	○	×
最終養生 24時間以上	パターンローラー塗り 吹付け （ラフトン１号ガン）	アクリル樹脂系エマルション塗料	防かび性 結露防止性	○	×
（工程内） ２時間以上 （最終養生） 24時間以上	はけ塗り、ウールローラー塗り スプレー塗り	ターペン可溶アクリル樹脂系 つやなし塗料	防かび防藻性	○	○
（工程内） ４時間以上 （最終養生） 24時間以上	はけ塗り、ウールローラー塗り スプレー塗り	ターペン可溶アクリル樹脂系 つやあり塗料	防かび防藻性 耐汚染性	○	○
（工程内） ２時間以上 （最終養生） 24時間以上	はけ塗り、ウールローラー塗り スプレー塗り	アクリル樹脂エマルション系 エナメル	防かび防藻性 作業性	○	○
（工程内） ２時間以上 （最終養生） 24時間以上	吹付け （ラフトン１号ガン）	アクリル樹脂エマルション系 砂壁状塗材	防かび防藻性	——	○
３時間以上 最終養生 24時間以上	パターンローラー塗り	アクリル樹脂エマルション系 単層弾性塗材	防かび防藻性 厚膜	——	○

＊上塗りにサニタリーリシン、サニタリーローラーを使用する場合には塗装間隔を3時間以上取ってください。

かびと藻類の豆知識

微生物の分類



キノコもかびの仲間!?

秋の味覚を代表するキノコも実はかびと同じく菌類に属します。キノコには食用キノコと毒キノコのあることがよく知られていますが、毒キノコをうっかり食べて死亡する例が毎年あとを絶ちません。またかびにも毒キノコと同様、強力な毒素を発生するものが多くあります。

かびと藻類の違い

	か　び	藻　類
栄養源	増殖に必要な栄養分を、他の有機物に依存する。	増殖に必要な栄養分を自分で合成できる。（光合成）
光の存在	増殖を阻止する。	増殖を助ける。
最適条件	日光の当たらない湿った所。	日光のあたる湿った所。

恐しい真菌症

「コロコロ」の死因はかびだった！

かびが原因となって起きる病気を真菌症と言います。真菌症には水虫・タムシで有名な白癬菌によるもの、内臓疾患を引き起こすカンジダ症、クリプトコッカス症、アスペルギルス症など、更に気管支喘息や鼻炎の原因となる真菌アレルギーなど、多くの疾患があります。

東山動物園の人気者であるコアラ「コロコロ」の死因を調査したところ、クリプトコッカス･ネフォーマンスというかびが肺をはじめ、腎臓や肝臓をおかしていたことがわかりました。この菌はハトのフンに混じっており、フンが乾燥すれば風に乗って運ばれます。

サニタリー工法注意事項

【取扱上の注意事項】

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて以下の保護具を着用してください。
  防塵マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業着、えり巻きタオル、保護手袋、前掛けなど
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。
  もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診断を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、４０℃以下で子供の手の届かない一定の場所を決めて保管してください。特に以下の場所への保管は避けてください。
  雨水や直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、潮風の当たる場所、凍結の恐れのある場所など
- 捨てるときには、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要な時には、安全データシート（SDS）をご参照ください。

※ 溶剤系塗料を使用する時は、以上の注意事項に合わせて以下注意事項に注意してください。

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気･スプレーミストを吸い込まないよう必ず保護具を着用してください。
- 取扱い作業所には、局所排気装置を設けてください。
- 臭いは食料・飲食器・衣類などに移る場合がありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど十分に注意してください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、住居者、隣家、車輌などに飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。
- 容器から取り出す時には、こぼれないように注意してください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火をしてください。

※ ホワイトナー・カビデッドを使用される場合は、以上の注意事項に合わせて以下注意事項に注意してください。

【ホワイトナー使用上の注意】

- ホワイトナーは塩素系製品であるため、酸性タイプの製品と混ざることで有毒性の塩素ガスを発生しとても危険ですので、他の製品と混ざることがないよう、十分に注意してください。
- 目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらず直ちに流水で１５分以上洗い流し、痛みや異常が無くても必ず医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、無理に吐くようなことはせず、コップ１～２杯の水か牛乳を飲むなどの処置をし、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに水で十分に洗い流し、異常が残る場合は医師の診断を受けてください。
- 使用時は十分な換気を行ってください。目の痛みやせき込み、気分が悪くなった場合は、直ちに使用を止めてその場を離れ、空気の清浄な場所で安静にしてください。

【カビデッド使用上の注意事項】

- ホワイトナーによる漂白処理後、残剤を拭き取った上で１６時間以上の養生を行い、下地が十分に乾燥していることを確認してから、カビデッドを塗布してください。
- 皮膚に付着した場合は、炎症・かぶれなど起こすことがありますので、石けん水で十分に洗い落とし、異常が残る場合は医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合は、こすらず直ちに流水で１５分洗い流し、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、無理に吐くようなことはせず、直ちにぬるま湯などで口の中をすすぎ、できるだけ早く医師の診断を受けてください。

【施工上の注意事項】

- 下地は十分に乾燥させてください。（含水率１０%以下、pH１０以下）
- 汚れ・付着物などは、すべて除去してください。
- 気温５℃以下、湿度８５%以上及び結露が懸念される場合は、施工を避けてください。
- 施工時は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから施工してください。
- 塗付量を厳守してください。膜厚が薄い場合、所定の性能が得られませんのでご注意願います。
- 各工程の塗装間隔および最終養生は所定の時間を厳守してください。

（外部）

- 強風時や降雨・降雪の恐れのある場合は施工を避けてください。
- 下地の巣穴・クラック・不陸・目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンフィラーなどで補修し、平滑にしてください。
- 塗膜の裏面に雨水がまわり込まないよう、シーリング・サッシ廻りなどとの取り合い部の防水処理は、十分に施してください。
- シーリング面に施工する場合は、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。ポリサルファイド系シーリング材の場合は、２回塗りしてください。尚、シリコーン系およびブチル系シーリングの場合は、塗装を避けてください。

（内部）

- 下地調整の精度が仕上がりに大きく影響しますので、下地のひび割れ・巣穴・不陸・ボードのジョイント部などの凹凸は、フィラーまたはエマルションパテで入念に調整してください。
- 取り付け金具・くぎ類などは、防錆処理をしてください。

- このカタログに記載以外の下地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

スズカファイン株式会社

塗料部門営業本部	〒510-0101	三重県四日市市楠町小倉1058-4	☎059-397-2187 FAX059-397-6191
塗料部門研究開発本部	〒510-0851	三重県四日市市塩浜町1番地	☎059-346-1116 FAX059-346-4585
札幌支店	〒061-3243	北海道石狩市新港東2-17-1	☎0133-60-6311 FAX0133-62-4313
東京支店	〒132-0025	東京都江戸川区松江4-25-13	☎03-5661-2211 FAX03-5661-2020
名古屋支店	〒453-0837	愛知県名古屋市中村区二瀬町110-1	☎052-411-1255 FAX052-412-7337
大阪支店	〒575-0031	大阪府四條畷市蔀屋398-12	☎072-862-1601 FAX072-862-1561
広島支店	〒733-0833	広島県広島市西区商工センター4-6-1	☎082-277-1116 FAX082-277-6217
四国支店	〒763-0083	香川県丸亀市土器町北1-36	☎0877-24-4621 FAX0877-24-4624
九州支店	〒811-2315	福岡県糟屋郡粕屋町甲仲原4-2-28	☎092-938-0071 FAX092-938-0075
郡山営業所	〒963-0724	福島県郡山市田村町上行合字南川田34-1	☎024-956-3306 FAX024-956-7086
新潟営業所	〒950-0063	新潟県新潟市東区上王瀬町1-30	☎025-271-2345 FAX025-271-2350
北関東営業所	〒355-0811	埼玉県比企郡滑川町羽尾1186-18	☎0493-57-0020 FAX0493-56-4516
静岡営業所	〒422-8036	静岡県静岡市駿河区敷地1-26-14	☎054-236-0825 FAX054-237-5020
金沢営業所	〒920-0356	石川県金沢市専光寺町ヨ26-3	☎076-267-1922 FAX076-267-1930
播磨営業所	〒679-4155	兵庫県たつの市揖保町揖保中474	☎0791-67-1468 FAX0791-67-8866
沖縄営業所	〒902-0072	沖縄県那覇市字真地345-1	☎098-836-7399 FAX098-916-7400
仙台出張所	〒989-1304	宮城県柴田郡村田町大字村田字西ヶ丘3-7	☎0224-82-1633 FAX0224-83-6110
千葉出張所	〒285-0813	千葉県佐倉市石川620-1	☎043-486-0096 FAX043-481-3761
多摩出張所	〒191-0062	東京都日野市多摩平3-31-10	☎042-581-2155 FAX042-585-1976
三重出張所	〒510-0101	三重県四日市市楠町小倉1058-4	☎059-397-6115 FAX059-397-2100
岡山出張所	〒710-0833	岡山県倉敷市西中新田419-1-103	☎086-441-6194 FAX086-441-6195
松山出張所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町2072-3	☎089-905-6733 FAX089-905-6733
熊本出張所	〒861-3107	熊本県上益城郡嘉島町上仲間394-1	☎096-237-3342 FAX096-237-3347
宮崎出張所	〒880-0912	宮崎県宮崎市赤江飛江田1208	☎0985-50-6840 FAX0985-50-6841
鹿児島出張所	〒890-0073	鹿児島県鹿児島市宇宿7-3-32-103	☎099-264-3661 FAX099-264-3661

URL http://www.suzukafine.co.jp

□本カタログの内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。